

1872年創業、金銀細工、純正漆、革製品のマスター、 エス・テー・デュポン

エス・テー・デュポンは145年以上に渡り、フランスにおける金銀細工、漆、トランク製造のマスターとして、細やかな気遣いと名人芸で、手で仕上げた独自製品を作り続けています。それぞれの製品には、製造番号が刻まれています。この比類なく高い価値のあるノウハウは、創業者、シモン・ティソ・デュポンから受け継がれたものです。創業以来、エス・テー・デュポンは、最も貴重な素材を使って贅沢なアクセサリーを作り続け、フランス流のアール・ド・ヴィーヴル(ライフスタイル)を現代に伝えています。

エス・テー・デュポンのノウハウ

今日も、エス・テー・デュポンのアクセサリーには常に高品質で希少価値の高い素材が使用されています。芸術的な域に達する職人の技術は、代々受け継がれてきたノウハウの蓄積を最大限に活かし、完璧なテクニックと美しいデザインを追求しています。

エス・テー・デュポンは、漆の技術を完璧に熟知した職人を抱えています。漆の樹液は手作業で採取された後、ワインと同じように熟成そして「ブレンド」され、美しく耐久性のある漆に生まれ変わります。調合、彩色、塗付といった漆の各ステップは、熟練した漆職人により代々受け継がれてきたものです。漆を使用しているエス・テー・デュポンの全てのライターには、漆の木の葉をかたどったマーク ⊕ が彫りこまれています。美しい木の葉の模様は、この素材の稀有な特徴を象徴的に表現しています。

貴金属や希少な素材を使った金銀細工は、ギョシ、浮彫加工、エンレーピング(彫刻)、手磨き、メッキなどに熟練した職人の手によってはじめて可能になります。

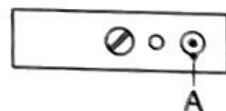
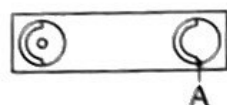
最新のテクノロジーと精巧な技術を融合した製造工程により、様々な装飾が施され、洗練された輝きに満ちた、贅沢なアクセサリーが生まれるのです。

エス・テー・デュポンのアート・オブ・ファイア

エス・テー・デュポンのライター:それは機能的で技術的なオブジェでありながら、同時に、ピュアなライン、贅沢な素材、程よい安心感のある重さによって、真のエレガンスの象徴となっています。

平行六面体のフォルム(ボディとキャップ)と円筒形のフォルム(ローラー)の絶妙な組み合わせを特徴とする独特なデザイン。

エス・テー・デュポンのライターは、ボディからタンクまで、全て一つの真鍮の塊をくりぬいて作られているため、非常に頑丈で耐久性にすぐれています。



ガスの注入方法

エス・テー・デュポンの純正ガスレフィル以外は使わないでください。

赤い炎

黄色、緑のガスレフィルを使用するライター:

1. ライターを下に向けて垂直にしてください。
2. ライターの底ネジAを外します。
3. 注入バルブの頭をボールペン等の先の硬い物の先などで押して、タンクに残っているガスを抜きます。
4. ガスレフィルを注入バルブに垂直に下向けにして、正しく充填作業を行えるよう、無理せずレフィルをねじ込む。5秒間優しく押す。

この作業を2回繰り返します。

充填作業を行う際、熱を持った場所、発火器具、炎、その他発火の原因となるあらゆる熱源から遠ざけてください。

充填した後ライターを使うときは、ガスが室温になるまで5分ほどお待ちください。

このレフィルで複数回充填できます。

注意: 赤、青のガスレフィルを使用するライターのガス注入方法。

内部のガスを完全に抜き、ガスフィルターをAの充填バルブに無理せず垂直に差し込みます。5秒そのままにし、同じことを繰り返します。

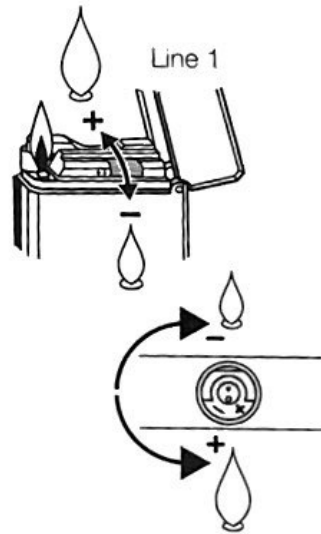
このレフィルで複数回充填できます。



トーチ或いは青い炎

黒いガスレフィルを使用するライター：

- ライターを下に向けて垂直にしてください。
- エス・テー・デュポンのレフィル先端をAの充填バルブにまっすぐ奥までそっと差し込みます。数秒間そのままにします。
- 充填した後ライターを使うときは、ガスが室温になるまで5分ほどお待ちください。
- ご注意：** 他のガスレフィルを使ったり、本使用法以外の充填方法を行った場合、危険を伴うばかりでなく、ライターを傷める原因となります。



炎の調節

調節ネジがライター底部にあります。(ライン1では、炎の高さ調節は横のローラーで行います)。

炎を大きくするには調節ネジを+の方向に動かします。炎を小さくするには、調節ネジを反対方向に調節します。

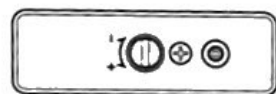
炎が大きくなれば、それだけガスの消費量が増えます。キャップを開けていると常にガスは出続けています。(トーチライター以外)。

注意：

赤い炎のライターは、自動的に消えません。炎を消すにはキャップを閉じてください。



Line 8



Line 2 Torch



Initial



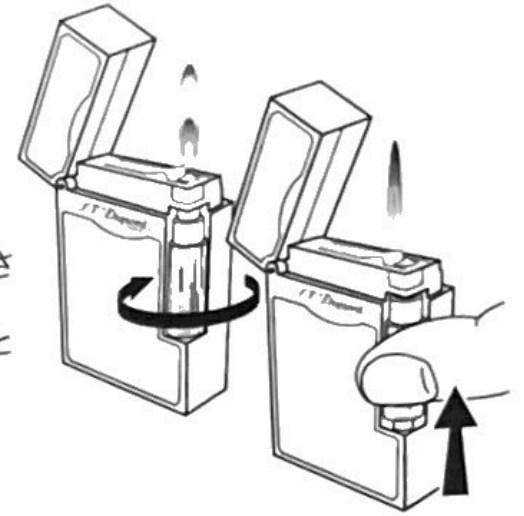
Le grand S.T. Dupont

着火方法

サイドにあるローラーを時計回りに回すことで着火します。

Le grand S.T. Dupont

ローラーを回転し、着火します。通常は自動的に赤い炎に設定されています。レバーを上へスライドさせると火力をトーチフレームに変えることができます。レバーを放すと赤い炎に切り替わります。

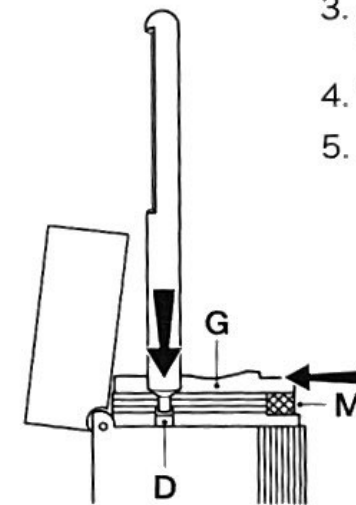


フリント(発火石)の交換

(赤い炎のライターのみ)

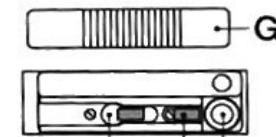
ライターには、使用フリントと予備フリントが付いています。

- ライターのフリントを交換 : 爪でリリースボタンDを完全に下まで降ろすと、スライドが後方に退きます。
- ライターのスライドGを後方にそっと押して外します。(ライン1ライター以外) 。上に引きながら、そっと外します。

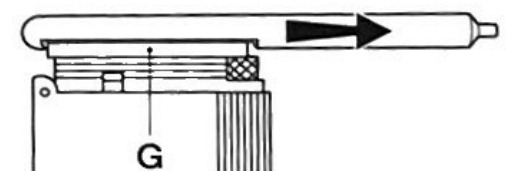


側面図

- スライドの下の方に入っている予備のフリントを取り出すには、ヤスリMを人差し指で押さえながらライターを前方に傾けます。
- フリントはヤスリに相対するように溝の中に横にして差し込みます。
- スライドGを溝の中に戻します。人差し指で前方にそっと押ししてください。さらに指ではさんでヤスリ側の方向に引いて下さい。リリースボタンDは、完全にもとの位置に戻っていなければなりません。



A P M



上から見た図

ご使用上の注意

- 子供の手の届かないところに保管してください。
- ライターの中には圧縮された可燃ガスが入っていますので、お取り扱いに注意してください。
- ガス充填後、ライターの中には可燃性ガスが入っています。
- 50°C以上になる場所や、直射日光のあたる場所に長い時間放置しないでください。
- 火気の近くでガスを充填しないでください。点火時、調整時やガス充填時にはライターに顔や衣服を近づけないようご注意ください。
- ライターやガスレフィルに穴をあけたり、燃やしたりしないでください。
- ライターを説明されている以外の方法で調節しないでください。
- その他の炎の調節についてはエス・テー・デュポン代理店にお尋ねください。
- エス・テー・デュポンの純正ガス以外は使わないでください。
- このライターの炎は自動的に消えません。炎を消すにはキャップを閉じてください。
※もしヤスリが外れてしまったら、ヤスリには天地がありますので、ギザギザのある側を下にしてセットしてください。

トーチライター或いは青い炎

点火時：

- 目に見えなくても、炎の上部は非常に熱くなりますので、火傷や火災に特にご注意ください。
- 10秒以上、点火し続けしないでください。火傷を避けるため、次の点にご確認ください。
- ご使用の後は、火が消えていることをご確認ください。

お手入れ方法

ライター本体を磨く際には、仕上げ加工の種類に関わらず柔らかな布でお拭きください(けしきで溶剤を用いた薬品等をご使用にならないでください)。シルバーメッキの施された部分には市販の銀製品用磨き布をお使いください。磨き液など、液状のものは故障の原因となりますので、ご使用にならないようにしてください。

漆が塗られた部分については、眼鏡のガラスや宝石と同じようにお手入れしてください。表面に蒸気をかけ、柔らかい布でお拭きください。漆は、酸によるダメージをほとんど受けません。非常に硬いので、特に衝撃に対する耐久性があり、ひっかき傷がつきにくく、摩擦や水による消耗によく耐えます。

保証*

エス・テー・デュポンが推奨する正常なご使用にもかかわらず故障が生じた場合、エス・テー・デュポンの製品は、ご購入された日から2年間完全保証されます。この期間内にトラブルが発生した場合は、エス・テー・デュポンが修理(部品、人件費)を負担いたします。

ただし：

- ぶつけたり、水の中に落としたりした場合や不適切な使用を行った場合、自然な消耗や、お手入れの不行き届き(例えばさびなど)の場合
- ガス充填やプリントの交換(ご使用方法参照)以外の目的で分解した場合
- オリジナル・モデルに改造を施した場合
- エス・テー・デュポンが公認していない人物が修理を施した場合を除きます。

特に傷や目に見えない欠陥の法的保証に関する国内法の規定と、この保証を置き換えることはできません。

修理が必要な場合は、お客様の国のサービスセンター(添付リスト参照)にお問い合わせください。

保証書を同封し、お客様の名前と住所をご記入ください。お支払いいただく必要の生じた場合は、エス・テー・デュポンの正規の明細書をお求めください。

ご注意： エス・テー・デュポンは、外部の第三者によってモデルに改造が加えられたり、付属品が取り付けられたりしている場合、修理は承りませんのでご了承ください。

* 付随の保証書をご覧ください。

